平成 30 年

第３回

評 議 員 会 会 議 録

5 月 18 日（金）

国立市土地開発公社

平成30年　第3回　国立市土地開発公社評議員会会議録

1．開　　催　　日　　　平成30年5月18日（金）

2．場　　　　　所　　　国立市議会　委員会室

3．出　　席　　者

（1）評 議 員　　8名　（═════は欠席を表す）

会長　青　木　　健	副会長　青　木　淳　子	石　井　伸　之
遠　藤　直　弘	中　川　喜 美 代	藤　江　竜　三
高　原　幸　雄	関　口　　博	

（2）理　　事　　8名

理 事 長	竹　内　光　博	副理事長	是　松　昭　一
出納理事	藤　﨑　秀　明	常務理事	門　倉　俊　明
理　　事	雨　宮　和　人	理　　事	大　川　潤　一
理　　事	橋　本　祐　幸	理　　事	江　村　英　利

（3）事 務 局　　3名

事務局長	立　川　浩　平	庶務係長	河　村　善　之
庶務係員	鍬　田　彩　葉		

4．議　　題

協議事項5　平成29年度国立市土地開発公社決算

5．会議時間　　　開　会　　午前10時45分

閉　会　　午前11時10分

午前10時45分開会

会　　　長　　　　　　　　　　（青　木　健　君）

おはようございます。

本日は国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただき、まことにありがとうございます。

5 月も後半になり、今週は暑い日が続いておりますが、街路樹の日陰に入りますと、なんとも、すがすがしい風を感じる季節になっています。評議員の皆様におかれましては、季節の変わり目ということもありますので、お体に十分ご留意くださいますようお願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。

ただいまの出席評議員は 8 名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから平成30年第3回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第 1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。議長において、「遠藤評議員」と「関口評議員」の両名を指名することにご異議ございませんか。

（異議なし）との声あり

異議なしと認め、「遠藤評議員」と「関口評議員」の両名を指名いたします。

続いて、日程第2「会期の決定について」を議題といたします。
会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

（異議なし）との声あり

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第3「理事長あいさつ」に入ります。

理事長、よろしくお願いします。

理　事　長　　　　　　　（竹　内　光　博　君）

おはようございます。

本日は、国立市土地開発公社評議委員会を招集いたしましたところ、皆様には6月定例会を控え、お忙しい中にも関わらず、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日提出させていただきました協議事項は、平成29年度の決算についてでございます。土地開発公社は国立市の総合基本計画に予定されております事業を達成するために、国立市の依頼に基づき土地を取得し、地域の良好な都市環境の整備を実現することを目指しております。今年の地価表示価格の状況をみますと、全国平均で住宅地が0.3%の上昇、商業地が1.9%の上昇となっております。3年連続の上昇傾向で、東京都全体の平均公示価格では、住宅地が2.4%の上昇、商業地では5.4%上昇し、4年連続の上昇となりました。国立市においては、同じく平均で、住宅地が2.4%の上昇、商業地では1.7%の上昇となっております。

このような状況の中で、平成29年度の土地の取得は、都市計画道路3・4・10号線用地と市道八王子道用地の2か所を実施いたしました。売却についてはございませんでした。

また、都市計画道路3・4・10号線の用地につきましては、平成29年度の取得で、事業用地の買収が全て完了いたしました。これも評議員の皆様のご協力の賜物であると深く感謝申しあげる次第でございます。

なお、本決算につきましては、去る5月16日に庄司監事及び内藤監事において監査をしていただいたところでございます。内容につきましては、事務局長から説明させていただきます。よろしくご協議のほど、お願いいたします。

最後に、皆様におかれましては更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げ、簡単でございますが挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

会　　　長　　　　　　　　　　（青　木　健　君）

ありがとうございました。
それでは、日程第4議題に入ります。
協議事項5「平成29年度国立市土地開発公社決算について」を議題といたします。当局から説明をもとめます。事務局長。

事 務 局 長　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

おはようございます。
それでは、平成 29 年度国立市土地開発公社決算につきましてご説明申しあげます。

最初に1．事業報告書でございます。
1 ページをお開き願います。1．概況の（1）総括事項でございます。平成29年度におきましては、都市計画道路用地で2件、市道拡幅用地で2件の先行取得を行いました。一方、公社保有地の処分はございませんでした。
次に2ページの（2）評議員会協議事項等でございますが、標記のとおり評議員会を 4 回開催し、6 件の協議事項につきましてご協議をいただいたところでございます。
次の（3）理事会議決事項等でございますが、標記のとおり理事会を5回開催し、各議題についてご審議いただいております。
3ページ及び4ページでは、（4）から（6）平成30年3月31日現在の評議員、役員及び職員に関する事項を記載しております。
次に 5 ページの 2．業務でございます。概況で説明いたしましたとおり、平成29年度におきましては、都市計画道路3・4・10号線の用地、及び市道八王子道の用地取得がございました。取得面積は合計で507.1㎡、取得費は合計で6億5千295万9千850円でございます。

次に6ページの3．会計でございます。
(2)の長期借入金概況です。平成29年度の借入額は6億7千186万9千850円で、償還がなく、未償還残高が10億9千836万3千388円となってございます。

次に 2. 決算報告書についてご説明申し上げます。

9 ページから 12 ページは、平成 29 年度収入支出決算書でございます。まず 9 ページは、収益的収入でございます。決算額が合計で 1 千 56 円となってございます。

10 ページは収益的支出でございます。款 1. 事業原価　及び款 2. 販売費及び一般管理費の決算額の合計は 44 万 3 千 802 円となってございます。

11 ページは資本的収入でございます。項 3. 長期借入金の決算額は 6 億 7 千 186 万 9 千 850 円となってございます。

12 ページは資本的支出でございます。項 1. 公有地取得事業費及び項 2. 事業管理費の決算額の合計が 6 億 7 千 186 万 9 千 850 円となってございます。

13 ページから 17 ページにおきましては、決算明細書でございます。収益的収入は、款 2. 事業外収益の預金利息及び資本財産収入の合計で 1 千 56 円でございます。14 ページ 15 ページの収益的支出は、款 1. 事業原価の項 2. 付帯等事業原価の経費で 8 万 5 千 311 円、及び 15 ページの款 2. 販売費及び一般管理費の人件費と経費の合計 35 万 8 千 491 円でございます。16 ページの資本的収入は、項 3. 長期借入金の 6 億 7 千 186 万 9 千 850 円でございます。17 ページの資本的支出は、項 1. 公有地取得事業費の 6 億 5 千 288 万 3 千 850 円と、項 2. 事業管理費の 1 千 898 万 6 千円でございます。

次に 3. 財務諸表についてご説明申しあげます。21 ページをお開きください。

平成 29 年度国立市土地開発公社損益計算書でございます。1. 事業収益は 0 円、2. 事業原価は付帯等事業原価の 8 万 5 千 311 円でございます。事業収益から事業原価を差し引いた額が事業総損失の 8 万 5 千 311 円でございます。3. 販売費及び一般管理費は、人件費と経費の合計 35 万 8 千 491 円で、事業総損失にこれを加えた額が、事業損失となり、44 万 3 千 802 円でございます。4. 事業外収益は受取利息の 1 千 56 円で、事業総損失から事業外収益を差し引いた額が経常損失となり、44 万 2 千 746 円でございます。経常損失に特別損失を加えた額が最終行の当期純損失となるもので、44 万 2 千 746 円となってございます。

次に、22 ページをお開きください。平成 30 年 3 月 31 日現在の

平成 29 年度国立市土地開発公社貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でございますが、1. 流動資産は合計で、16 億 8 万 1 千 272 円。2. 固定資産は 800 万円、最終行の資産合計が 16 億 808 万 1 千 272 円となるものでございます。次に表右側の上段、負債の部でございますが、1. 流動負債は合計で、12 億 9 千 339 万 6 千 206 円、2. 固定負債は 2 億 9 千 133 万 3 千 951 円で、負債合計が 15 億 8 千 473 万 157 円でございます。次に表右側の下段、純資産の部でございます。1. 資本金は 800 万円、2. 準備金は合計で 1 千 535 万 1 千 115 円、純資産合計は 2 千 335 万 1 千 115 円でございます。表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の最終行、資産合計と同額の 16 億 808 万 1 千 272 円となるものでございます。

次に 23 ページの財産目録でございますが、資産合計と負債・純資産合計が同額でともに 16 億 808 万 1 千 272 円、このうち純資産の 2. 準備金 1 千 535 万 1 千 115 円がページ下段の準備金処分計算書にありますとおり、前年度の繰越準備金から当期純損失を差し引いた当年度末未処分準備金となり、これが翌年度への繰越準備金として処分するものでございます。

次に 24 ページでございます。平成 29 年度国立市土地開発公社キャッシュフロー計算書でございます。1. 事業活動によるキャッシュフローで、事業活動にかかる収入と支出を示してございます。収入から支出を差し引きますと、マイナス 1 億 8 千 594 万 5 千 827 円となります。2. は財務活動に係るキャッシュフローで、借り入れによる収入として、6 億 7 千 186 万 9 千 850 円となっております。3. の現金及び現金同等物の増加額は 1. と 2. の合計で 4 億 8 千 592 万 4 千 23 円となります。4. の現金及び現金同等物の期首残高は 1 千 549 万 9 千 301 円でございましたので、5. の現金及び現金同等物の期末残高は 5 億 142 万 3 千 324 円となってございます。

最後に付属明細書でございます。

27 ページは、冒頭、事業報告書で説明申し上げました、長期借入金の明細と資本金の明細でございます。

以上が、平成 29 年度国立市土地開発公社決算についての説明となります。よろしくご協議くださいますようお願い申し上げます。

会　　　長　　　　　　　　　（青　木　健　君）

説明が終わりました。
それでは引き続きまして、監査結果について、ご報告を願います。
庄司監事、よろしくお願いします。

監　　　事　　　　　　　　　（庄　司　雅　君）

監事の庄司でございます。
平成29年度国立市土地開発公社決算の監査結果を申し上げます。
国立市土地開発公社会計規定第35条2項の規定に基づき、平成29年度の会計決算において、事業報告および会計帳簿、証拠書類ならびに財務諸表の監査を実施し、計数に誤りはなく、適正に執行されておりましたことを報告申し上げます。

会　　　長　　　　　　　　　（青　木　健　君）

ありがとうございました。
報告が終わりました。
それでは、ご質疑・ご意見を承ります。何かございますでしょうか。

副　会　長　　　　　　　　　（青　木　淳　子　君）

それでは、貸借対照表の未収金についてお尋ねさせていただきます。
平成28年度にも未収金がございましたが、これと関連するものでしょうか。

事　務　局　長　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

平成28年度のものと同じ内容の未収金でございます。

副　会　長　　　　　　　　　　　（青　木　淳　子　君）

　そうしますと、平成 28 年度の決算報告の際に、裁判所から支払命令が出ていること、駐車場の未払いであることが確認されたかと思います。返済の意思があるということもその時にお聞きしていますが、平成 29 年度としてはどのような対処をしていたのでしょうか。

事 務 局 長　　　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

　平成 29 年度におきましては、債務者の方と文書によるやり取りを 3 回、直接市役所にお越しいただいて面談を 1 回、それから電話での連絡を 2 回ほどしております。そのなかで、28 年度以前と状況が変わらない中でご本人の話をうかがいましたところ、努力して返済するという旨の意思を確認できたものですから、引き続き平成 29 年度の未収金として計上しております。

評　議　員　　　　　　　　　　　（青　木　淳　子　君）

　様々努力をしていただいたことが確認できました。また債務者の方の、返済する意思があることも確認できているかと思います。
　今後の見通しとしてはどのように考えているのか伺いたいと思います。

事 務 局 長　　　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

　引き続き未収金の回収に向けた働きかけをしていきたいと思います。

会　　　長　　　　　　　　　　　（青　木　健　君）

　ありがとうございました。
　ほか、いかがでしょうか。

評　議　員　　　　　　　　　（高　原　幸　雄　君）

協議事項の説明資料の中での「市道八王子道用地」という標記のことで、市民の意見を聞く会において市民から質問を受けたが、この道路の幅というのは、何メートルなのか、またこの道路の先にはまだ道路があるが、今作ろうとしている道路とその辺について、この計画上はどのようになっているのでしょうか。

事 務 局 長　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

現在進めております、拡幅事業の八王子道ですが、現況で、国立市域内ですけれども、幅員が 6mでございます。これを片側 1mずつ、8mに拡幅していくという事業でございます。その対象用地の道路延長はおよそ 350m、当然国立市内でございます。

ご指摘のとおり、そのまま府中市境を超えて府中市域内に入っていきますと、住宅地に入る道です。市のほうで拡幅事業を想定している事業部分につきましては、八王子道の東側に大型規制が外れている道路があるので、八王子道を拡幅し大型規制を外すことによって、府中市に入ることなく、大型車の通行が可能な動線ができるということです。それが、平成 26 年に完了しました下新田の土地区画整理の完了地の、さらなる活用につながると考えております。

評　議　員　　　　　　　　　（高　原　幸　雄　君）

そうすると、府中市域に入って、その先に中央高速のトンネルがありますが、それとの整合性が図られるということですか。

事 務 局 長　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

今申し上げました通り、八王子道に接続している東側の道路と、ループ状に大型自動車の動線を作ることを目指した道路拡幅事業です。逆に言いますと、高速道路を超えた府中市域内への動線という

ことでは考えておりません。

会　　　長　　　　　　　　　　（青　木　建　君）

よろしいでしょうか。ほか、いかがですか。

評　議　員　　　　　　　　　　（関　口　博　君）

内容についてはよくわかりました。先ほど高原評議員が聞かれたように、八王子道を拡幅して下新田の区画整理ができるように、土地利用ができるようになるということで拡幅するということですね。

確認ですが、市道八王子道用地と書いてあるが、よく、いわゆる「八王子道」という言い方で説明をすることがあるが、八王子道というのは正式名称でしょうか。

事 務 局 長　　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

市の認定道路の名称としては、正式なものとして、現在は国立市にある市道八王子道という名称で使っています。この由来ですが、接続している、国道 20 号線バイパスの支線であったことから、支線の名称の名残として八王子道という名称だけ残ったということで聞いております。

評　議　員　　　　　　　　　　（関　口　博　君）

市の公称として八王子道ということでよいでしょうか。

東京都に対しても、あるいは国に対してもこの「八王子道」という言葉で使えるということでいいでしょうか。

事 務 局 長　　　　　　　　（立　川　浩　平　君）

はい。市で作成しております道路図でも八王子道、厳密に言いますと、八王子道・八王子道Ａ・八王子道Ｂという名称になっております。市によりますと、都への補助の際もこの名称を使っているとのことです。

会　　　長　　　　　　　　（青　木　健　君）

ほかに、よろしいでしょうか。

なければ、本議題については、これで協議を終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、平成 30 年第 3 回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前 11 時 10 分閉会